

科目名	国語Ⅰ Japanese I			担当教員	坂本具償・長原しのぶ		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	16120001	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方をを知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。原則として週に1回漢字小テストを実施する。適宜、読書の時間を設ける。意見を書いたり発表したりしてもらうこともある。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	※ガイダンス(1) 1. 現代文 (1) 小説[坂本] 「羅生門」(8) (2) 評論 「ボランティアの『報酬』」(5)			・ 作品に見られる表現上の工夫とその効果について説明できる。 ・ 作品のテーマを捉えることができる。(A-1) ・ 文中の「意見」と「根拠」とを的確に読み分けて捉えることができる。 ・ 文章の論旨をまとめることができる。(A-1)			
	※ガイダンス(1) 2. 表現(13) [坂本・長原] ア. 仮名遣い イ. 送り仮名 ウ. 文字 エ. 句読点 オ. 同音異義語 カ. 同訓異字 キ. 類義語 ク. 慣用的表現			・ 正しい日本語で表現するための基礎的事項が理解できる。(D-1)			
	[前期中間試験](4)						
	※試験返却と解説(1) 3. 現代文[坂本] (1) 小説「ほねとたね」(9) (2) 評論「水の東西」(4)			・ 主人公の心理の変化を場面を追って捉えることができる。 ・ 作品のテーマを捉えることができる。(A-1) ・ 「鹿おどし」と「噴水」の違いとその違いの意味することを捉えることができる。 ・ 文章の論旨をまとめることができる。(A-1)			
	4. 古文[坂本・長原] (1) 説話「兄の知恵」(4) (2) 随筆「憎きもの・うつくしきもの・ありがたきもの」(6) (3) 物語「さらぬ別れ」(4)			・ 古文を正しく音読し、読解に必要な基本的な文法を理解することができる。 ・ 古文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて内容の面白さを説明できる。(A-1)			
	前期末試験						
	試験返却と解説(2)						
	5. 表現 (1) 小論文を書こう(5) 6. 俳句・短歌 (1) 「折々の歌」(4) (2) 「作品」(5)			・ 小論文の基本的な書き方を理解する。 ・ 与えられた課題で小論文を完成させる。(D-1) ・ 俳句・短歌の型と技法を理解する。 ・ 情景や心情を補って読むことができる。(A-1)			
	[後期中間試験](2)						
	※試験返却と解説(1) 7. 現代文[坂本] (1) 評論「テクノロジーと人間」(6) 8. 漢文 (1) 漢文入門(4) (2) 故事を楽しむ 「蛇足」(3)			・ 文章の論理展開を的確に捉えることができる。 ・ 文章の論旨をまとめることができる。(A-1) ・ 訓読の基礎を身につける。 ・ 「名言」を味わい、その知恵を学ぶ。 ・ 全文を書き下し文にし現代語訳ができる。 ・ この故事の意味を捉えることができる。(A-1)			
	後期末試験						
試験返却と解説(2)							
評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を10%、提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価における割合は、1～2, 3～4, 5～8をそれぞれ1/3ずつとする。 3. 授業に対する取り組みが悪い者については減点することがある。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ（1年）→国語Ⅱ（2年）→国語Ⅲ（3年）→文学特論Ⅰ（4年）→文学作品講読（専攻科2年）						
教材	教科書：新編国語総合 教育出版 影山輝国ほか 問題集：新編国語総合学習課題ノート 教育出版 漢字：級別漢字学習4級～2級〈改訂常用漢字表対応版〉 東京法令出版 赤羽靖他 表現：基礎からの国語表現の実践〈改訂版〉 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 図説：新総合図説国語〈新訂版〉 東京書籍 池内輝雄他 辞書：電子辞書等（国語辞典 古語辞典 漢和辞典）						
備考	単位追認試験、再試験は適切な時期に実施する。月曜日放課後をオフィスアワーとする。						